



神戸采町六丁目仲仕長富岡七郎ハ子カ數多便りる同家所

通南仲組云帳場頭坂本此三吉ト親兄同意成付仲組帳場ト

合衆セ一の共三吉前為定價減少の儀申出すと台範七郎

子分等江面目難故妻子ヲ離別一九月廿二日刀を懐一

與三吉方立越し前示談雖及下其儀固く不聞入を範七

郎是逃ありと云ふ早々切首は此三吉大狼損し裏口、

逃出ん為再と眉先切せられ黒人鎧逃入し故範七

郎是追下思と刀取直し柄を柱一切先ヲ我腹に

當テカに任やせ押しあに柱を割れてワカ

五分餘り突込一間の大勢

駈附終る自盡あし得

かきよし神港新聞

此等拾八蹄と祥ふり

濁流
泥あり
しる

新聞圖會 第十八号



雷赤子

ありは